

とむろいし 戸室石だより

土壌の石垣のように、みんなで、暖かい病院を！ 発行：金沢医療センター編集委員会

金沢医療センターNST活動開始

外科医長 (NST 責任者) 桐山 正人

最近、新聞にもよく取り上げられているNSTの活動を、金沢医療センターでも本年4月より本格的に開始しました。

NSTとは何でしょう？

NSTとはNutrition Support Team (栄養サポートチーム)の略です。病気や怪我で入院されている患者様で、治療はうまく行っているのに、元気が出ない・食事が進まずに体が弱っていく、あるいは栄養状態が悪く褥瘡がなかなか改善しない、等々で悩んでおられる患者様・医師・看護師の手助けをしようとするのがNSTです。どんなに高度な治療を受けていても、栄養状態が悪くては治る病気も治りません。栄養状態を改善して、病気や術後の経過を良くしようとするのが栄養サポートチーム(NST)です。ですから、このチームのメンバーは医師・看護師・管理栄養士・言語聴覚士・歯科衛生士・薬剤師・臨床検査技師等さまざまな医療専門職から構成されており、現在20名を超えています。



NST活動の流れを簡単に説明します。栄養改善が必要と思われる入院患者様がおられますと、主治医もしくは病棟の担当看護師からNSTの依頼がきます。その日の午後に、まずNSTメンバーの医師が患者様を診察し、その患者様には何が必要かを診ます。例えば、食道や胃などの消化器に問題があるのか(医師・看護師が力を発揮)、歯が悪くて噛めないのでは？(歯科衛生士が援助)、嚥下がうまくいかないのか(言語聴覚士の力が必要)、現在出されている食事内容に問題があるのか(栄養士・薬剤師・臨床検査技師の協力が必要)、あるいはカウンセリングが必要なのかを判断します。次いで水曜日の午後にNSTのメンバーが集まり、簡単なディスカッション後に回診を行い、その患者様に必要な栄養サポートを開始します。点滴のメニューを指示したり、経管栄養を勧めたり(胃瘻を造設することもあります)、咀嚼の訓練をしたり、食事を変更したり、等々その患者様に最適な栄養サポートをするようにしています。“医者には怖くて話も出来ないが、栄養士さんや言語聴覚士さんはやさしく声をかけてくれて、それだけで食欲も出てくる”などとおっしゃられる患者様もおられるようです。

今後、当院がより質の高い医療を提供していくためには、NSTの役割が重要になっていくと思われまます。皆様のご理解をよろしくお願い致します。

金沢医療センター糖尿病患者会「兼六会」が発足

今年の1月29日に金沢医療センター糖尿病患者会が発足しました。名称は「兼六会」です。

糖尿病の治療及び予防に関する知識の普及と啓蒙を図り、併せて会員の福祉向上に資することを目的としています。対象は当院で診察を受けている糖尿病患者様及びその同居家族です。顧問として医師3名、世話役として看護師・薬剤師・臨床検査技師・管理栄養士が助言・補助をしています。

7月23日(土)に、患者会初めての行事、ハイキングが開催されました。今回は糖尿病患者様とご家族26名と医療スタッフ14名が参加しました。コースは、①ゆったりコース：病院～兼六園散策～金沢城公園～本多の森公園(5000～6000歩) ②ハイキングコース：病院～金沢城公園～中央公園～21世紀美術館散策～本多の森公園(8000～10000歩)の2コースです。兼六園内はボランティアガイドさんに同行していただき、解説を聞きながら楽しくゆつたりと散策をしました。ハイキングコースでは途中で低血糖をおこした人がいましたが、医師並びに看護師が同行していたので、素早い処置により大事にはいたりませんでした。スタート&ゴール時に血糖値測定・血圧測定・健康チェックを行うことで、運動



療法の必要性を実感できたようです。参加された会員皆様から、「運動をして血糖値が下がった これからも続けよう」、「患者と医療関係者が一緒に楽しくすごせてよかった」という感想もあり、大変充実したハイキングとなりました。

今後は、11月5日(土)に石川県女性センターにて栄養士の指導による、調理実習「良い食事の実践のために」を計画しています。また、講習会も予定しております。現在会員は36名です。この機会に是非、「兼六会」にご入会下さい。

なお、「兼六会」に関しては、南5病棟もしくは内科外来にお問い合わせ下さい。
(栄養管理室 緒川)



「話題の病気シリーズ」

なっとくのいく話：今後の予定

場所 当院地域医療研修センター

- 第19回 生活習慣病「ピンピンコロリが最高」
10月20日(木)午後3時から
担当 腎臓内科 吉村 光弘
- 第20回 白内障の話
11月17日(木)午後3時から
担当 眼科 安藤佳奈子
- 第21回 気胸の話
12月21日(水)午後3時から
担当 呼吸器外科 道場昭太郎

**予約変更の専用電話
を設置しました**

TEL 076-262-4179

受付時間 午後2時30分～4時30分

上記時間以外には、変更受付できません。
予約変更は、時間指定できません

セカンドオピニオン外来のご案内

6月より全診療科におきましてセカンドオピニオン外来を開始いたしました。

セカンドオピニオンを希望される患者さま、あるいはそのご家族におかれましては、お気軽にご相談いただきますようご案内申し上げます。



セカンドオピニオンとは

患者さま、あるいはそのご家族が、現在診療を受けている医師とは別の医師から、自分あるいは家族の疾患に関わる診断や治療方法について、アドバイスを受けることをいいます。

なお、ご家族のみで受けられる場合には、患者さまご本人の同意が必要となります。

セカンドオピニオンの内容

診断・治療に関することに限ります。

医療費、医療訴訟、医療機関の苦情に関する相談は対象外です。

また、最初から当院での治療をご希望の場合は、セカンドオピニオン外来の対象とはなりませんので、一般外来を受診してください。

完全予約制

セカンドオピニオン外来は完全予約制とさせていただきます。

面談日程につきましては、申込みをいただいた後に担当医師と調整を行い、あらためてお知らせいたします。

なお、申込みにあたりましては、受診中の医療機関の医師から直接ご連絡をいただいても差し支えありません。

紹介状（データ）の持参が条件

紹介状や検査結果などの情報が無ければ、せっかくご来院いただいても一般的な内容のお話ししかできません。

適切なアドバイスを行うためには、紹介状や検査結果などの情報は必須です。



費用

30分まで10,500円（消費税込み）

延長が必要な場合は30分までとし、5,250円（消費税込み）の追加料金をいただきます。

セカンドオピニオンは、医療保険において制度化されていないため、全額ご相談者の自己負担となりますのでご注意ください。

お問い合わせ・お申し込み窓口

地域医療連携室 電話 076-262-4161（代） 内線 2489

FAX 076-262-4188

受付時間 月曜日～金曜日（平日）8:30～17:15



ニッタ先生の神経百話

(第9回) ふらふら、ゆらゆら、眼が回る。夏バテ？



ようやく朝晩涼しくなり、過ごしやすくなった今日この頃ですが、皆様お変わりありませんか。夏バテの方は十分な睡眠を取り、食欲の秋に向けて万全の体調を整えましょう(爆)。

めまいで神経内科を受診されたHさん。顔色は悪く、とてもつらそうです。ちょっと動くと気持ちが悪くなり、げーげーとなります。でも、静かにして動かなければそうでもありません。

「ぐるぐる回るめまいですか？、回らないめまいですか？」

「まっ、回ってるんです。」

「どんな時にめまいがします？」

「どんな時と言われても……。急に起きあがるとなる気がします。おえっ。」

「寝返りしてもなりますか？」

「そっ、そうです。」

「どのくらい回ってますか？」

「そんなことわからないですよ、時間測ってるわけでもないし。だいたいそれどころじゃないんです。うっふ。」

「そっ、そうですね。ず〜っとですか、数分ですか？」

「そう言われれば、1分くらいかなあ。」

「回っているときに耳鳴や、手足のしびれなどが出てきます？。聞こえにくくありませんか？」

「う〜ん、それはないと思います。」

これでおおよそ診断がつきます。めまいの診断には、問診とめまいが起きている時の診察、特に眼の診察がとても大切です。めまいの時は動けないので大変とは思いますが、その時に診察しないと正確な診断が難しいので、何とかして病院に来ていただければと思います。ちなみにHさんは、診察で眼振(眼の揺れ)が出現し、良性発作性頭位性めまい(耳の三半規管が原因です)と診断しました。病名のとおり良性のめまいで、数日で退院されました。

「先生、めまいの患者さんがあと5人、待ってらっしゃるんですけど……。」

「こっ、こっちにもめまいの薬をっ(@ @)」

痴呆(認知症)と介護のシンポジウム開催

6月23日(木)、当院の講堂で痴呆(認知症)と介護のシンポジウムが開かれました。認知症について関心をもつ患者さまとご家族、関連医療・福祉機関や院内スタッフの約160名が参加されました。

院内からは、神経内科、放射線科、脳神経外科、精神科の医長より、早期の受診が早期の診断・治療そして生活の質にまでつながることの報告がありました。院外からは、金沢市保健衛生課越田理恵先生、上川医院上川吉彦先生、介護相談センター佐宗節子所長からそれぞれの立場での取り組みの状況や課題についての報告がありました。さらに、呆け老人をかかえる石川家族の会代表井沢恵美子さんから、認知症と診断をうけても安心して暮らせる社会であることが大切、そのためにも介護者だけでなく本人にも思いを語ってもらう活動をおこなっていると報告がありました。

総合討論では時間の制約がありながらも参加者の方々から、関係職種の連携をしっかりとってほしいと率直なご意見が出ました。今後、院内スタッフの連携はもちろんのこと関係機関や職種との連携を深めていき、地域の医療機関として情報の発信をおこなっていきたいと考えていますので、よろしくごお願い致します。ご要望等がありましたらお気軽にお寄せください。(地域医療連携室 尾角)



診療科紹介

精神科

【スタッフ】坂井尚登医長、小室龍太郎医師

【当科の紹介】近年、精神医療は大きく変わりつつあります。その中のいくつかを列挙してみます。

摂食障害は珍しいとされていましたが、現在では臨床上日常的なものとなりました。神経症という用語がなくなり、新たに分類され、不安障害、強迫性障害には薬物療法が有効であることがわかってきました。統合失調症にもうつ病にもさまざまな新薬が開発されました。少なくとも従来の薬物よりも副作用が少なく、同等かそれ以上の効果があります。一方でうつ病が急増し自殺が多発するようになり、男子の平均寿命を下げました。高齢化社会に伴い、認知症が急増しその対応に追われています。犯罪の凶悪化に伴い精神医療の分野でも重大な他害行為に対して法改正がなされました。児童、思春期の治療は専門分化されようとしています。

このような多様化に対応しながら当科では総合病院精神科として一般の精神障害のみならず、身体合併症をもった精神障害の方や他科に入院されている方の精神的問題にも対応しています。

平成16年度、当科外来患者総数は1449名(新患者506名)でした。入院患者総数は153名で21パーセントがうつ病などの気分障害でした。平均在院日数は98日です。

また、精神療法、薬物療法以外にも麻酔科の多大な協力をいただき無癱瘓性電気療法をおこなっています。これはきわめて安全な療法であり、薬物が有効でない難治性うつ病などに効果を挙げています。

【外来診療】外来は月・水・金が坂井、火・木は小室が担当しており、家族相談もおこなっています。精神科の敷居は低くなり段差なしとなっています。気楽に声をかけてください。



第4回ロビーコンサート開かれる。

フルート奏者の日向恵子さんをお迎えして

去る4月18日、第4回ロビーコンサートが催されました。今回私は、患者様が集まって来られる開演前から、その場の雰囲気を味わってみました。私の言葉で勝手に表現するならば、「スローに始まってスローに終わる」・・・つまり、他の一般のコンサートでの開演前の嫌なドキドキ感がないので、ゆったりとした雰囲気の中で開演できるという構成が私には心地よく、患者様もかしこまらずに参加できたのではないのでしょうか。



さて、恒例の中年3人トリオ(あくまでも自称)ですが、会を重ねることに貫禄が・・・、おそらく私自身が感じていた身内の気恥ずかしさの様なものが薄れたためか、ニンマリとした表情で音楽を楽しんでおられる様子は、とても素晴らしくうらやましくも感じました。

今回はスペシャルゲストとして、プロのフルート奏者(瀧口医師の恩師である日向恵子さん)をお迎えし、春をテーマとした曲が繰り広げられました。

コンサート中盤に入り、ふと周りを見渡して見ると、数人の患者様が穏やかな表情で目を瞑り、ウトウトされていました。曲調との相乗効果で、満開の桜から新緑へと移り変わるうらかな季節を感じられたコンサートでした。

(注)前号の掲載文に誤りがあったため、訂正の上、再度掲載しました。改めて関係者の皆様に深くお詫びします。(編集部より)



消化器科の内視鏡検査: 治療成績の紹介

消化器科医長 森本日出雄

消化器科の守備範囲は広く、食道から直腸にいたる消化管と、肝臓・胆道系・膵臓に関する全ての病気に対応しています。その中でも消化器の内視鏡診断・治療と肝疾患が2つの大きな柱となっており、肝疾患については政策医療ネットワークによって全国の医療センターと連携し、よりよい診断・治療法の確立をめざしています。

今回はもう1つの柱である内視鏡部門について、平成16年の治療成績とともに、お話しします。表に平成16年の内視鏡検査数と代表的疾患の例数を示しました。

上部消化管内視鏡検査・下部消化管内視鏡検査はそれぞれ2975例・1023例であり、いずれも前年に比べ約300例の増加をみえています。消化管の治療内視鏡では吐下血で受診された57例の上部消化管出血例中47例の顕性出血にクリップ法などで止血操作が行われ、止血がえられています。早期胃癌は13例、早期大腸癌は7例あり、それぞれ10例、6例で内視鏡的粘膜切除術(EMR)・粘膜下層剥離術(ESD)・ポリペクトミーにより内視鏡的に切除されました。早期癌でも切除できなかったものは高齢のため治療の同意がえられなかったものや他の重篤な疾患のため治療適応がなかったものです。粘膜下層剥離術は早期胃癌の新しい治療法です。従来内視鏡切除が困難とされていた大きな分化型早期胃癌をフックナイフ・ITナイフといった特殊なナイフを使って切開・剥離し一括切除するものです。出血や穿孔という偶発症もありますが、早期胃癌に対する治療の選択の幅が大きく広がりました。早期胃癌や早期大腸癌は内視鏡切除が可能です。年1回の消化器内視鏡検査をぜひ受けて下さい。

一方、閉塞性黄疸(結石や腫瘍のために胆管での胆汁の流れが滞るために起きる黄疸)による緊急入院は36例でした。内視鏡的経鼻胆道ドレナージ(内視鏡的に十二指腸乳頭から胆管へチューブをいれ、胃・食道・鼻腔を経由して、閉塞部のきたない胆汁を体外に排出します)を行い、黄疸改善後に総胆管結石例では内視鏡的碎石術を、手術不能の癌では金属ステントなどを留置(胆汁を十二指腸に排出するために閉塞部に管を埋め込めます)し、QOL(生活の質)の向上を図っています。

本年2月に内視鏡室がリニューアルし、その日に内視鏡検査を受けていただける体制が整いました。また写真のように電動リクライニング・シートも新しく設置しましたので、検査時の麻酔(鎮静剤の静脈注射)が可能になり、内視鏡検査の苦手な方も楽に検査を受けていただけます。検査を希望される方は朝食を抜いて受診され、外来担当医にご相談下さい。



平成16年内視鏡検査数と症例数(消化器科)

上部消化管内視鏡検査	2975
上部消化管出血	57
内視鏡的止血例	47
進行胃がん	36
早期胃がん	13
内視鏡的切除例	10
下部消化管内視鏡検査	1023
進行大腸癌	24
早期大腸癌	7
内視鏡的切除例	6
胆膵内視鏡検査	164
閉塞性黄疸	36
膵癌	4
総胆管癌	10
総胆管結石	14
その他	8
内視鏡的処置(延べ数)	68

外来担当医一覧表

平成17年 10月

診療科目	診療時間	【初診受付時間】午前8時30分～11時30分					備考
		月	火	水	木	金	
内科	初診	吉村	吉尾	伊勢/長岡	北	周藤	水曜日:初診は隔週交代です
	初診(消化器)	太田	高田	松田(尚)	松田(耕)	大原	禁煙外来:月、水曜日(14:00~)
	内分泌・代謝①	能登	長岡	能登	石倉	長岡	糖尿病教室:毎週月曜日(14:00~15:00)
	内分泌・代謝②		(能登)	石倉			高血圧教室:第2水曜日
	腎・膠原病	伊勢	伊勢	木田	吉村	吉村	
	血液	吉尾			周藤	吉尾・池ヶ谷	第1・5金曜日 吉尾、第2・3・4金曜日 池ヶ谷
	呼吸器	北	良元	北	犬塚	良元	
	消化器①	森本	太田	森本	太田	森本	
消化器②	松田(尚)	松田(耕)	足立	*足立	高田	*キャリア外来	
精神科		坂井	小室	坂井	小室	坂井	
小児科	一診	奥田	市村	奥田	酒詰	奥田	予防接種:火、木曜日14:00~16:00
	二診	西田/市村	西田	脇坂	脇坂	齊藤(剛)	
	(午後)特殊	慢性疾患・発達	1ヶ月検診・発達	アレルギー・慢性疾患	乳児検診・発達	循環器(午前・午後)	午後の診察時間(特殊外来のみ)
	特殊	奥田	奥田	奥田/市村	奥田	酒詰	月、水15:00~16:00・火、木14:00~16:00
外科	一診	桐山	初診のみ	桐山	初診のみ	桐山	
	二診	黒阪	(当番医)	小島	(当番医)	小島	
	三診	竹川		竹川		竹川	
	五診	道場		道場		道場	
	六診	田村		船木		佐々木	
	七診	道輪	(手術日)	黒阪	(手術日)	道輪	
	乳線外来	道輪		桐山		竹川	
	整形外科	一診	末吉	末吉	初診のみ	米澤	初診のみ
二診		米澤	米澤	(当番医)	末吉	(当番医)	
三診		白井	白井		白井		
四診		林	多田	(手術日)	林	(手術日)	
脳神経外科	一診	池田	池田	当番医	池田	正印	月、水、金曜日:手術日
	二診	赤池	正印/赤池	(手術日)	正印	赤池	火曜日二診は、一週交代です。(10:00~) 木(14:00~)パーキンソン病外来(要予約)
神経内科		新田	池田(篤)	新田	池田(篤)	新田	火:物忘れ外来(午前・要予約)
							水:頭痛外来(午前)
循環器科	一診	関口	中村	[初]阪上	中村	[初]中村	[初]=初診
	二診	佐伯	阪上	武田	阪上	武田	
	三診		佐伯		関口		
心臓血管外科	一診	佐々木	遠藤	佐々木	遠藤	佐々木	
	二診		川上		松本(康)		
	三診	(手術日)	松本(康)	(手術日)	笠島	(手術日)	月、水、金曜日:手術日
皮膚科	初診/再診	川原	島田	川原	島田	島田	乾癬外来:木曜日(13:30~)
	再診	島田	川原	村田	川原	村田	
	再診	村田	村田		村田		
泌尿器科	一診	越田	越田	勝見	石浦	越田	ED外来:第2・4木曜日、ストマー外来第2月曜日
	二診	杉本	杉本	石浦	杉本	石浦	
産婦人科		(手術日)		(手術日)		(手術日)	月、水、金曜日:手術日
	一診	丹後	瀬戸	丹後	金谷	瀬戸	妊産婦健診:午前(月~金)及び月、金曜日午後
	二診	金谷	当番医	瀬戸	当番医	金谷	
	三診	谷田部		谷田部		谷田部	火、木曜日:手術日
眼科	四診	瀬戸	(手術日)	金谷	(手術日)	丹後	午後:乳房外来(要予約)
	一診	安藤	安藤	安藤	安藤	安藤	コンタクトレンズ:月、水曜日(13:00~15:00)
耳鼻咽喉科	二診	高橋	高橋	高橋	高橋	高橋	火、木曜日:手術日
	一診	瀧口	瀧口	瀧口	瀧口	瀧口	聴覚、平衡:火、木曜日(15:00~16:00)
放射線科	二診	巽	巽	巽	巽	巽	月、水、金曜日:手術日
	一診	齋藤	多田		多田	齋藤	照射の依頼:毎日可
歯科口腔外科	(超音波)	小林	多田・小林	大久保	多田・大久保	俵原	
	初診/再診	中尾	窪田	窪田	初診のみ	窪田	
	再診	窪田	北原	中尾	(当番医)	中尾	
麻酔科	再診		(手術日)	北原	(手術日)	北原	火、木曜日:手術日
	一診	岸植	岸植		岸植	岸植	ペインクリニック、術前診察:午前中
二診	横山	野竹			太田		

※ 特殊外来及び午後外来は、予約が必要です。なお、急患については、終日受付します。

担当医は都合により変更となる場合がありますのでご了承願います。

コスモス広場

この度、外来1階ホールに金沢市に在住される日展評議員の銭亀賢治さんのご厚意により新しい彫刻を展示することになりましたのでご紹介します。



題名：「はるかなる記憶」

解説：はるかなる人類の長い歴史に思いを馳せて・・・
あこがれの古代遺跡を模した造形の中に幼い姿を
かりて遠い昔の記憶を表してみました。

作者略歴：1938年(昭和13年) 加賀市大聖寺生まれ
金沢美術工芸短期大彫刻科専科卒業
1973年(昭和42年) 日展初入選
日展 特選 2回
日展 審査員 2回
日本彫刻会審査員 3回
2002年(平成14年) 日展評議員になる
2002年(平成14年) 石川県文化功労賞 受賞
2002年(平成14年) 北国文化賞 受賞

金沢医療センターの理念

【理念】

私たちは、生命の尊さと人権を尊重し、高度で最良の医療をめざします。

【基本方針】

- 一. 説明と同意に基づく信頼される医療をめざします。
- 一. 臨床研究を行い、医学の進歩に貢献することをめざします。
- 一. 病診連携を密にして、地域医療に貢献することをめざします。

パートの看護師さん募集中

- ・ 時 給：1,240円
- ・ 勤務時間：週30時間以内
(時間、曜日は、応相談)
- ・ 採用日：相談に応じます
- ・ 待 遇：各種保険有り
- ・ 有給休暇：規定により有り
- ・ 院内保育所完備

問合せ先：管理課給与係

(TEL: 076-203-4504)

編集後記：今年の夏も花火大会、盆踊りなど、各地でさまざまな催し物が開催されました。当院看護学校でも、夏休みの期間を利用して、高校生を対象にしたオープンキャンパスを開催しました。日差しの照りつけるなか、石川、富山の高校を中心に50名ほどの参加がありました。看護学校を卒業して十数年後に戸室石だよりの編集委員として参加することになった私ですが、その参加者のなかに、将来、編集委員となる人がいるかもしれないと思ったりしました。(T.N)

発行元：金沢医療センター (〒920-8650 石川県金沢市下石引町1番1号)

電話：076-262-4161 (19時以降の救急受付；076-262-4163)、FAX：076-222-2758

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~knzwhosp/> Eメール admin@kanazawa.hosp.go.jp

地域医療連携室 (直通番号 076-262-4187、専用FAX 076-262-4188)

編集委員：石川倫子、井村政美、緒川陽子、州原一繁、佐々木久雄、周藤英将、滝野 豊、西井佐織、
西出一信、西村民子 (五十音順)